Ｔグループ（人間関係トレーニング）

-深いかかわりから学ぶ-

日本の各地から集まったさまざまな人々と 八ケ岳を目の前に仰ぐ清里の豊かな自然は あなたが,人と人との関わりを探究するのを 豊かにささえてくれるでしょう。

-本当の自分自身でいられることの深い充足感
-人と人が関わるプロセスの変化に富んだ姿
-対話の中で人の心に触れた瞬間の感動
-深いところで自己と対面した驚き
-ズッシリとした学びの手応え

担当者	山口真人（南山大学人文学部心理人間学科教授） グラバア俊子（南山大学人文学部心理人間学科教授） 博野英二 川島惠美
概要	人間関係の体験学習の中でも、特に密度の濃い体験のできるトレーニングが「Ｔグループ」とよばれる集中的集団体験です。その中から、深く豊かな気づきや学びが生まれます。 人間関係の体験学習の中でも、特に密度の濃い体験のできるトレーニングが「Ｔグループ」と呼ばれる集中的集団体験です。 　10名程度が1グループになって、自由な雰囲気の中で対話を続けていくと、自己理解や他者理解、受容や共感、傾聴や援助関係、コミュニケーションやグループプロセス、などにかかわる様々な現象が起こります。その時その場に起こっている人間関係や自分や他者のありようについて、気づいたことや感じたことをお互いにフィードバックしあうことによって、生の人間関係から学ぶことが可能になるのです。 　たっぷり時間をかけて、自らの気づきを中心にして学んでいきますので、講義や短時間の実習などでは得られない深く豊かな気づきや学びが生まれます。 ●Tグループについて Ｔグループとは、Training　Groupの略であり、人間関係トレーニングの原点かつ源であるトレーニング方法です。具体的には、メンバー7～10人とスタッフ2人が1つのグループを組み、同じグループで１週間を過ごしていく中で生じる人間関係自体を題材にしながら、ともに学びともに成長することに取り組むトレーニングです。 歴史：Ｔグループの始まりは1946年、グループダイナミックス研究者として有名なＫ．レヴィンを中心とした研究者たちが開いたワークショップでした。その後、アメリカ合衆国ＮＴＬ（National Training Laboratory）でＴグループが継続的に開催され、現在でも核（コア）プログラムとして実施されています（Human Interaction Laboratoryという名称で実施）。 日本には、1950年代後半に紹介され、立教大学キリスト教教育研究所（ＪＩＣＥ）によるヒューマン・リレーションズ・ラブとして実践が重ねられました。 南山大学人間関係研究センターでは、Ｔグループ本来の発想である「人間尊重」をベースとしたグループアプローチとして、前身である南山短期大学人間関係科時代から通算30年あまり、このＴグループを実施し続けています。 他のトレーニングとの違い： Ｔグループは、合宿制で行う集中型のトレーニングです。したがって、自分自身のあり方、対人関係の持ち方、グループダイナミックスについてなど、非常に深く学ぶことができます。6日間という長いプログラムで実施するため、他のメンバーとも深い関わりができ、そこから深い気づきを得ることができます。また、ふりかえりの時間が充実しているのも特徴となっています。
日程	2009年2月24日（火）～3月1日（日）　5泊6日 フォローアップ：2009年6月14日（日）10:00～16:00（南山大学D棟にて）
定員	18名
会場	（財）KEEP協会・清泉寮　　〒407-0301　山梨県北杜市高根町清里3545
受講料	受講料　78,000円　　滞在費　52,500円　（シングル利用を希望される場合は追加料金が発生します）
講座報告 （アンケートより）	・本質的に人と人との心はつながったものであることが実感できた。また、人と本当につながるために、自分が心を開き、ありのままでいることが必要だと思った。 ・日常では絶対に体験できないプログラムで、他の参加者とのふれあいも貴重だった。